

全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名		国 語	
	指導方法の課題分析 (学習における児童の実態等)	具体的な授業改善策	改善状況 ◎○△
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ○取り出す力 ・文章の順序や内容を一緒に追っていくと大半の児童は理解できている。しかし、様子や気持ちを想像するには個別支援が必要な児童もいる。 ・平仮名の読み書きが不十分で、文章の意味を正しく理解できていない児童もいる。また、設問の意味を読み取れず、記憶を頼りに思いつきで答えることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取り出す力 ・文章の読み取りの際、言葉を頼りにしながら内容を読み取る学習を繰り返し行う。また、音読をする中で言葉の楽しさを十分味わわせる。 ・読み聞かせの時間を週に1回程度もち、読書を通して文章に慣れることで、豊かに想像する力を育てる。 ・文字の学習に年間を通して継続的に取り組む。 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ○読み取る力 ・音読を通して、文章の順序や内容を一緒に追っていくと大半の児童は様子や気持ちを理解できる。 ・個別に文章を読み、理解することには支援が必要な児童がいる。 ・平仮名、片仮名、漢字の読み書きが不十分で、文章の意味を正しく理解できない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読み取る力 ・声に出して繰り返し読んだり、読んで思ったことを書き込んだりすることで、登場人物の気持ちや場面の順序を捉えさせる。 ・漢字の練習や音読、読書を通し、文章に慣れ、内容を理解する力を育てる。 ・文字の学習に年間を通して継続的に取り組む。 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ○読み解く力(取り出す力) ・文章の順序や内容を一緒に追っていくと大半の児童は、様子や気持ちを理解することができる。しかし、支援が必要な児童もいる。 ・漢字の読み書きをはじめとした言葉や文章のきまりを理解することは、まだ十分ではない。言語事項では、漢字を書いたり文章の中で使ったりする力が、まだ不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読み解く力(取り出す力) ・音読、読書を通し文章に慣れるようにする。また、ワークシートを活用するなどして、内容を理解する力を育てる。必要な場合は、個別に指導する。 ・漢字の学習に年間を通して継続的に取り組ませ、漢字を書く力を身に付けさせる。文章の中で使うよう指導する。 	
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ○読み解く力(取り出す力) ・物語文では、大半の児童が場面にそった情景や心情を読み取ることができている。 ・説明文では段落と段落との関係を考えながら読むことに苦手意識が高い。 ・言語事項では、漢字を書いたり文章の中で使ったりする力が、まだ不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読み解く力(取り出す力) ・段落構成を意識することを繰り返し指導していく。中心になる語や文を意識して読ませる。小見出しや要点をまとめさせることで内容を整理させる。 ・漢字の学習に年間を通して継続的に取り組ませ、漢字を書く力を身に付けさせる。文章の中で使うよう指導する。 	
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ○読み解く力(取り出す力) ・物語文では場面ごとに情景や心情を読み取る学習を進めた。その場面にそった情景や心情の読み取りに一定の効果が出ている。 ・説明文では段落と段落との関係を考えながら読むことに苦手意識が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読み解く力(取り出す力) ・段落構成を意識することを繰り返し指導していく。中心になる語や文を意識して読ませる。小見出しや要点をまとめさせることで内容を整理させる。 	
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見をもちそれを表出する力 ・説明的な文章では文章の構造を理解した上で、筆者の主張を捉え自分の意見を表出する学習を進めた。筆者の主張を捉え、それに対して自分の立場を決め自分の考えを形成することは一定の効果が出ている。 ・自分の考えを書く際に、複数の条件を提示された場合、それらを満たした文章を書くことは困難を感じる児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見をもちそれを表出する力 ・説明的な文章を読む際に、筆者概念を導入し、常に筆者を意識して読み進めていく。 ・筆者の主張に対して納得できるか・できないのか、文章の吟味評価を行う。 ・図表やグラフなどを用いた筆者の目的やその効果を捉えながら、複数の条件を満たした上で自分の考えを表出する学習活動を積み重ねる。 	